

**WEEKLY SIGNAL**

2019年6月28日(金) 1480号

上田八木短資株式会社

**来週の市場とレート予想**

	7/1(月)	7/2(火)	7/3(水)	7/4(木)	7/5(金)
無担保O/N			△0.086% ~ 0.001%		
銀行券	+ 600	+ 1,000	トシ	トシ	トシ
財政他	△ 29,600	△ 6,000	△ 47,000	△ 1,000	△ 7,000
資金需給	△ 29,000	△ 5,000	△ 47,000	△ 1,000	△ 7,000
主要要因	国債発行(2年) 国庫短期証券発行・償還(3M)	法人税・消費税・保険揚げ	法人税・消費税・保険揚げ 国債発行(10年)		国債発行(30年)
オペ期日	共通担保資金供給 △ 600				
オペスタート	国債買入 + 7,800 共通担保資金供給 + 700				
(日本)	企業短期経済観測調査 (短観、6月調査) 消費動向調査(6月)	マネジャーベース(6月) 日銀営業毎旬報告(30日現在)	布野日銀審議委員が広島市で講演 (金融経済懇談会に出席)		
(海外)	OPEC総会、共同閣僚 監視委員会会合(ウイーン) 米 ISM製造業総合景況指数(6月) 米 クラリダFRB副議長、講演 (フィンランド、ヘルシンキ) ユーロ圏 製造業PMI(6月) ユーロ圏 失業率(5月)	米 NY連銀総裁、講演(チューリヒ) 米 クラブラント連銀総裁、講演 (ロンドン) 米 自動車販売(6月) OPECプラス会合(ウイーン)	米 独立記念日の前日 株式・債券市場短縮取引 米 ADP雇用統計(6月) 米 貿易収支(5月) 米 新規失業保険申請件数 (29日終了週) 米 製造業受注(5月) 米 耐久財受注(5月、改定値) 米 ISM非製造業総合景況指数(6月)	米 独立記念日 株式・債券市場休場	米 雇用統計(6月)

**＜インターバンク市場＞**

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.070 ~ 0.020
SPOT 2M	△0.030 ~ 0.020
SPOT 3M	△0.030 ~ 0.030
SPOT 6M	△0.010 ~ 0.100

**＜インターバンク＞**

日銀当座預金残高は週初、410兆3,100億円から始まった。その後も概ね横ばい圏で推移し、410兆7,900億円で越えた。無担保コールON物は週を通して軟調な地合となり、同加重平均金利は低下基調を辿った。同金利は週初△0.066%から始まり、四半期末となる28日は調達を控える先が多かったことから△0.076%まで低下した。ターム物は、四半期末越えとなる1~2W物で△0.025~△0.015%での出が見られた。日本銀行は28日、7月の長期国債等の買入れ方針を発表し、買入額の上限を残存期間1年超3年以下は5,000億円(前月比500億円増)、3年超5年以下は5,000億円(同500億円減)に、10年超は2,500億円(同500億円減)に変更した。来週の主な予定は日銀営業毎旬報告(2日)、海外ではNY連銀総裁講演(2日)、雇用統計(5日)がある。

**＜C P＞**

今週の入れ発行総額は約2兆7,800億円で、週間償還額(約4兆500億円)に対し大幅に減少した。6月末の市場残高は、四半期末の有利子負債の圧縮ニーズから、前月比△2兆円程度の減少となった模様。但し、7/1スタートで約1兆2千億円の新規発行があり、一般事業法人が期中でCPを積極的に活用する姿勢であることが確認された。発行レートは、投資家の運用ニーズに変わりなく、0%からマイナスでの出合いであった。25日に、CP等買入れオペが2,500億円オファーされ、按分レートは△0.003%で前回比横ばい、平均落札レートは0.002%と前回(△0.002%)比で上昇する結果となった。来週の償還総額(7/1~7/5)は、1,400億円程度となっている。発行市場は、一般事業法人の発行再開が見込まれるため、発行超が予想される。発行レートは、投資家は0%以上であれば運用ニーズが強く、引き続きマイナスから0%近辺での出合いとなる。

**＜オープン市場＞**

CP3M(a-1+)	△0.005 ~ 0.000
TDB 3M	△0.150 ~ △0.100
現先(on/1w)	△0.050 ~ 0.000

**＜TDB＞**

今週の国庫短期証券市場は、3M物が先週に比べ軟調な地合い。28日入札の3M841回債は、最高落札レート△0.1042%(前回債△0.1288%)、平均落札レート△0.1138%(同△0.1384%)と前回債から上昇した。セカンダリー市場では3M物で△0.14%~△0.106%、6M物で△0.18%~△0.17%、1Y物で△0.24%~△0.225%の出が見られた。来週は5日に3Mの入札が予定されている。

**＜レポ＞**

足許GC取引は週前半△0.085%~△0.095%で推移。月末初物となる28日受け渡しは、前場△0.10%台前半から出合いが付き始めたが、後場△0.08%近辺まで上昇。短期3Mの発行日となる1日受け渡しは、△0.07%台の出合いも一部見られた。SC取引では10年354回債、5年138回債、139回債のbidが多く見られたが、概ね△0.09%~△0.10%近辺が出合いの中心であった。その他2年399・400・401回債、5年137回債、10年338・339・340・341・342・343・344・345・346・347・348・349・350・351・352・353回債、20年164・165・166・167・168回債、30年59・60・61・62回債、40年9・10・11・12回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。